

コンビニ交付サービスの
進捗状況は
（大熊議員）

【Q】コンビニ交付サービスは進んでいるのか。また、申請業務などの行政DXについての考え方は。

【A】令和6年度から開始したが、思ったより進んでいない。今後、国の政策によりコンビニ交付が進むと思われるので、広く利用してもらえよう周知したい。

地方創生に係るアウトソーシングについて
（佐藤（良）議員）

【Q】内閣府が進める地方創生に係る人材支援事業などを今後活用する予定はあるか。

【A】現在、総務省が進める地域活性化起業人制度、CIO補佐官制度を活用している。町の課題をしっかりと確認し、活躍する土壌をつくりたい。

防災備蓄品の充実を
（遠藤議員）

【Q】防災備蓄品として生理用品等を揃えることは当然と考えるが、大人用の紙おむつを日常的に使用し

経常収支比率悪化の原因と改善に向けた考えは
（植西議員）

【Q】経常収支比率の悪化は、扶助費などにおける一部事務組合の負担と、その他における施設維持補修費の高止まりによるものが挙げられるが、改善するための考えはあるか。

【A】本町のように施設の老朽化や分散して施設があることで、経常経費の占める割合が大きくなると考える。施設を集約し、経常経費を削っていくことが必要。中央部4町では一部事務組合を結成し、事務の共同事務化を進めているが、今後どのような共同事務化が進められるのか検討していきたい。

経常収支比率とは？
収入のうち、毎年必ず必要となる支出（人件費、扶助費等）がどのくらいの割合を占めているかを表す指標。

適正に施設の修繕を
（遠藤議員）

【Q】公衆浴場の女性用浴室の窓の網戸が機能していないため、窓を開

ている方のために、備蓄品として用意されているか。

【A】現在のところ備蓄品には入っていない。特に高齢者や女性の対応については、改めて備蓄品の整備を考えていく。また、スフィア基準にできるだけ近づけるように整備を進めたい。

スフィア基準とは？
人道支援における最低限の基準を示した国際的なガイドブック。



▲段ボールベッド

防災士の育成について
（植西議員）

【Q】防災士の育成について、現状どのように考えているか。また、町内に何人防災士がいるのか。災害があっ

けたくても開けられない状況になっている。利用者の声を聴き、現場を確認するなどの対応をしてほしい。また、福祉的な観点で公衆浴場を残すことは大事と思うが。

【A】現場を見て対応する。公衆浴場の維持管理については、財政的に厳しい部分もある。交流の場にもなっていることから、福祉的な観点で民間事業所を活用できるかなど協議を行っている。



▲公衆浴場

火葬場管理人の技術継承を
（大熊議員）

【Q】火葬場にはベテランの管理人がいるが、今後の技術継承などをどのように考えているか。

【A】現在1名体制で勤務をしていただいており、退職年齢は定めていない。火葬場管理人は長い経験も

た際に専門的な知識が働いたり、防災備蓄品としてどのようなものが必要なのか、具体的に becoming していくのではない。自治体での活用方法がしっかり見えてくれば、防災士を増やしていくことは有効と思う。

【A】正式ではないが、防災士は町内に2名いると聞いている。災害の少ない町だが、町の防災の中で活躍をしていただけ体制も必要になつてくる。道の地域防災マスター制度、国の地域防災マネージャー制度の活用も研究したい。

防災士とは？

災害から命や暮らしを守るため、防災・減災の知識と技能を身に付けた民間資格の保有者。



選挙時の有権者の対応に
配慮を
（遠藤議員）

【Q】投票所の記載台の氏名掲示が小さいという声があった。もう少し有権者、投票に来た方に対して多様性を持った配慮はできないのか。また、公設掲示板に投票所での代理投票が可能なことや車椅子を用

あり継続したい意向だが、墓地管理業務もあり、体力的に厳しいという声もある。将来的には考えなければならぬと思っている。

労働相談について
（植西議員）

【Q】労働相談に来られる方が少ないと感じる。近年、雇用条件、雇用環境が厳しくなる中で、困っている人や我慢して働いている方が多いように思う。もう少し声を聴ける工夫が必要ではないか。また、ハローワークへ誘導し、通年的な相談体制を確立することが好ましいのではないか。

【A】年2回の労働相談事業を行っているが、参加者は多くないため、困っている方がどのくらいいるのか把握できていない。また、ハローワークでどの程度、相談にのつていただけるかわからないが、確認していきたい。

施設等の草刈りを
民間委託しては
（遠藤議員）

【Q】施設等の草刈りについて、職員

意していることをPRしているところもあるので考えてほしい。

【A】道選挙管理委員会に確認し、努力したが、記載台の大きさもあり、サイズが限られてしまう。見やすくできるように様々な方法を検討したい。車椅子については用意しているが、代理投票を含めたPRについて選挙管理委員会を検討したい。

消防職員の体調管理について
（植西議員）

【Q】近年の猛暑により、職員の熱中症対策が必要になっていると考えるが、十分な対策を行っているか。また、塩タブレットなどを一定程度備蓄しながら予防していくことも必要と考える。

【A】エアコン等を活用しながら通常業務を行っているため、一定程度の対策はできていると考える。塩タブレットは常備していないが、消防車には保存水を積み、補給、保水、体にかけるなどの対応を行っている。また、経口補水液の粉末を用意し現場対応できるようにしている。

農業に携わる地域おこし協力
隊の展望は
（佐藤（良）議員）

【Q】実際に就農までの準備や経費面でのハードルが高い。他町に行ってしまつた例もある。他町のやり方を比布でも活かすことができるか。

【A】本町は水稻・畑作での新規就農は地形的に難しい土地柄もあり、野菜等での就農が現実的と考える。人のつながりも大事になる。

子どもたちが活躍するために
（大熊議員）

【Q】君の夢プロジェクトで部活動に対する支援を実施しているが、高校の全国大会の視察等を行い、子どもたちに次のステージで活躍できる道筋をつけてあげることではないか。